

ミニぐにゃぐにゃ凧を作ろう

実験担当者 工藤 清^A・西野 春喜^B

所属 手づくりおもちゃの科学館^A

(株) スタックシステム^B

1. どんなもの？

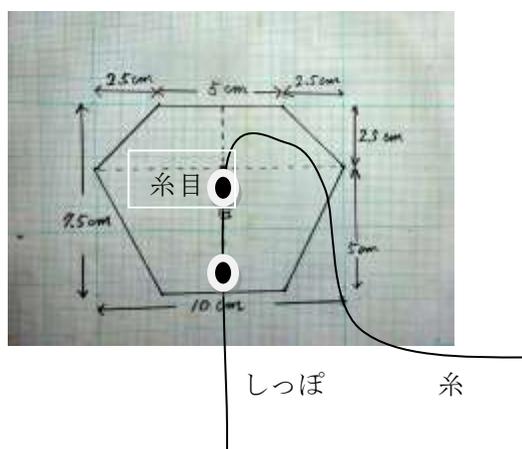
部屋の中でも飛ばすことのできる小さな凧です。材料は身近なものであり、簡単な構造であるので、だれでも簡単に作ることができます。

2. 用意するもの

約10センチ角の発泡ポリエチレン製シート(厚さ1ミリの包装材)、シール小2枚、もめん糸

3. 作り方

図のようにシートを切り取り、糸目のところに糸をシールで貼りつけ、そのまま糸を伸ばしてもう一枚のシールでとめてしっぽにします。



4. あそびかた

糸の先を持って、室内でゆっくりと歩いてください。外で飛ばしたいならば、糸を長くして、弱い風が吹いているときにためてください。

5. 工夫

凧のしっぽの長さを調節したり、風を受けやすいテープなどと交換してみてください。それでもうまく上がらないときには、糸目の位置を調節してみてください。

6. なぜ？

凧はなぜ上がるのでしょうか。そのしくみを考えてみましょう。

凧のしっぽのやくわりはなんなのでしょうか。

昔から伝わっている凧にはどんな形のものがあるのでしょうか。

参考文献 滝川洋二 Newton, 2014 2月号など